

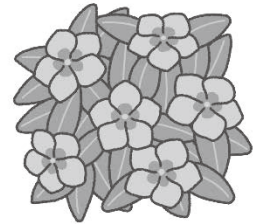
発行責任者 中田慶子
〒850-8799 長崎中央郵便局 私書箱第7号
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>
E-mail dv_greentomato@yahoo.co.jp
郵便振替口座 01730-6-103415

グリーントマト

あきらめない！

新しい年が明けました。本年もよろしくお願いいたします。

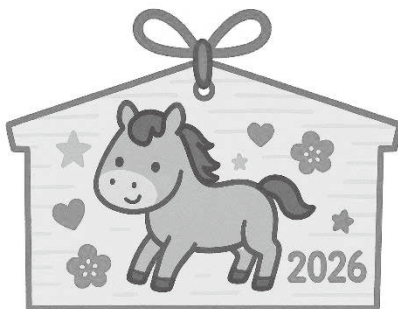
3年前の夏に、日々草の苗を3本買ってきて植えました。秋には花が
終わって枯れてしまったのですが、昨年春、そのこぼれ種からたくさん芽が
出てきたので、次々に植え替えていたら6つのプランターいっぱい毎日花
が咲きました。秋もずっと咲き続け、この寒空にも葉は枯れかけているのに
小さい花を咲かせています。昨年の猛暑にもこの寒さにもめげない花の力に
こちらが励まされています。あきらめるなー！と。



DV防止ながさきは、2002年にスタートしたグループなので、今年で24年目を迎えます。24年前と比べてDVは減ったのでしょうか？ 長崎県の配偶者暴力相談支援センターへのDVの相談件数は、ここ数年2000件余りとほぼ横ばいですが、相談へつながった方々はおそらく氷山の一角に過ぎないと思います。私たちは小さい民間団体ですが、それでも縁あってつながった方々のお話を伺うと、こんなことを相談していいとは思ってなかった、相談しても無駄だと思っていた、相談窓口があることを知らなかった、こんな支援があることがわかっていたら、もっと何年も前に加害者と別れていたのに…と言われる方がいまだにたくさんおられます。まだまだ情報が必要な方に届いていないと思います。

暴力を受けていても、それを暴力だと思わない、自分が悪いと思込んでいる方が多いことにも気づきます。社会全体に、その程度は暴力じゃない、我慢が大事、女性は逆らうべきでない、男性は泣き言を言わない、などの偏った思い込み（アンコンシャスバイアス）が、まだまだ根深いからではないでしょうか。

身体的暴力は傷も残り、暴力だと自覚しやすいですが、精神的な暴力（暴言、束縛、脅し）による支配は、本人も気づかないうちに心を蝕み、その人のエネルギーを奪います。DVだけでなく、虐待、パワハラ、セクハラなども同じです。暴力から離れて初めて、自分がこんなに自由だったんだ、力があるんだと実感する方が多いのです。誰でも力を持っているのに、奪われているだけ、そのことに気づいてほしいです。



24年前はDVという言葉自体が全く知られていませんでした。DV講座の受付をしていたら、DVD売っているの？ と聞かれたこともありましたが！！ 今、DVや虐待という言葉が普通にメディアで取り上げられるようになったのは大きな変化です。

これからもあきらめないで、暴力はあってはならないことを伝え続け、相談をきっかけに、いろんな法律や制度も活用して、本来持っている力を取り戻すお手伝いができればと願っています。

理事長 中田慶子

「DV根絶のための連続講座」



令和7年11月23日（日）アマランス研修室で開催しました

2003年から開始した「DV根絶のための連続講座」も22年目となりました。今年度のテーマは「性暴力から子どもを守る」でした。「子どもや若者の性被害の現状」、「性暴力被害と法的支援」、「日本版DBS法」、「デートDV防止授業体験」の4講座に、各分野の専門の方をお招きしお話を伺いました。参加者数は、4コマで延べ136人。そのほとんどが企画内容や講師などに興味を持たれて申し込まれた方でした。初めて参加の方を含めて満足度は平均94.6%と高く、実施して良かったと安堵するとともにこの講座の必要性を改めて感じました。この講座は毎年11月の「女性への暴力防止週間」の前後に開催しています。日程が決まり次第、HPなどでご案内いたします。

皆さまのご参加をお待ちしています。

回	時間	内容・講座テーマ	講師
	10:00～10:05	はじめに（ご挨拶）	男女共同参画推進センター センター長 坂本 恵子 さん
1	10:05～11:05	子どもや若者の性被害の現状	長崎県警 県南少年サポートセンター 少年育成官 松江 悦子 さん
2	11:10～12:30	性暴力被害と法的支援 ～その時、どんな支援が受けられる？～	諫早総合法律事務所 弁護士 中舗 美香 さん
	12:30～13:20	— 昼 休 み —	
3	13:20～14:40	日本版DBS法 ～子どもを性暴力から守る法律～	長崎大学教育学部 准教授 池谷 和子 さん
4	14:50～16:10	デートDV防止授業体験 ～境界線と同意とは？～	NPO法人DV防止ながさき 理事 小岱 海
	16:10～16:30	まとめ・質疑	NPO法人DV防止ながさき 理事長 中田 慶子

<感想の一部をご紹介>

- ・ 毎回、それぞれの専門家が最新のテーマに応じて話されるので、とても有意義です。
- ・ いろんな角度からの講演があり、自分ゴトとして捉えることができ、とても良かった。
- ・ 性被害の現状は具体的で分かりやすかった。
- ・ 弁護士さんの話も分かりやすくてよかった。難しい話が図式化されて分かりやすかった。
- ・ 子どもの性暴力の実態(データ)を知ることができて良かった。人権の意識を高める、変えることは日々の生活、言葉を選ぶことを意識的にしていこうを改めて思いました。
- ・ 今年各講座は、近年の世の中の動きを反映してあって「今知りたい」ことばかりでした。特に日本版DBS法は解説してもらってよく分かりました。「法的支援」の講座も私の知らない世界でした。
- ・ 予防教育はとても大切だと思います。まず被害に気付くことが大切で、そこが入口だと思います。
- ・ いろいろな分野の講師の先生のお話が聞いて勉強になりました。また、小岱先生の授業は中学生の時に聴きたかったです。自分にしみついている男らしさ、女らしさを取り除き、自分らしく生きたいと思わせていただきました。ありがとうございました。

【資質向上研修】長崎県DV被害者総合支援事業の一環として2つの研修会を開催!!

どちらの講演会も会場とオンラインで多くの方にご参加いただき、盛況でした。おふたりの講演内容についても好評の声がたくさん寄せられました。

9月21日(日)

「被害者支援のための加害者プログラム

～その必要性と具体的な実施状況について～

講師：佐々木浩介さん(臨床心理士・公認心理士・産業カウンセラー)



【感想の一部をご紹介】

- ・加害者プログラムの具体的な内容や進め方のお話が聴けて、理解が深まった。被害者支援のための加害者プログラムなんだと認識できた。先生のお人柄に好感が持てた。受講者は、きっと、話しやすいと感じておられるだろうと拝察した。長崎にも、加害者プログラムの受け入れが必要だと思う。もちろん、全国にも。
- ・具体的にどのような関わりをしているのか体験させて頂くことができ、加害者更生プログラムの必要性と効果を強く感じました。ありがとうございました。
- ・加害者を守るのではなく、被害者を守るための加害者プログラムだということを知り納得できた。

11月2日(日)

「性暴力当事者が語るトラウマインフォームドケアの重要性」

講師：八幡真弓さん(Praise the brave 代表、支援者&性暴力・DV被害者)



【感想の一部をご紹介】

- ・ご自身の回復過程に照らし合わせてお話してくださり、回復の過程に色々な状態が起こってくるということが想像しやすかったです。トラウマインフォームドケアが市民レベルで提供し合えるような社会に少しずつ進めていければいいと思いました。自分も相手もトラウマレンズで見えてみるという姿勢から始めたいです。
- ・顔と名前を出して活動されている八幡さんはすごいと思いました。実在しているということ、被害者は逃げ隠れしないといけない存在ではないということ、そんなことがつたわってきます。
- ・支援者で、トラウマインフォームドケアの研修をしたこともあります。実体験からくる2次被害の辛さを具体的に教えていただけたのはよかったです。また、回復のステージによる辛さ、その時によって言うことが変わっても当然なのだと聞けたのは良かったです。八幡さんの勇気と熱意に力をいただきました。ありがとうございます。

～長崎県女性支援アップデート会議に参加して～ 2025.11.13

「Jikkaの女性支援～行政との協働と課題」に参加、オンラインでしたが、国立市の民間団体Jikka(実家の意)の責任者遠藤良子さんのお話は画面越しでもパワーにあふれるものでした。「自分たちだけで完結する支援は持続可能とはならない」と、官民連携のため報告書を毎日共有する事で当事者についてJikkaが知っている事は役所でも全て知っている、そのため日常的に連携ができており直ぐ対応ができるという事でした。当事者にとって何度も同じ説明をしなくても素早い対応ができる事は安心や信頼につながると思います。また、オープンスペース「くにたち夢ファーム」は、交流の場所として誰でも気軽に立ち寄り、ご飯を食べ、話しもできる。何より驚いたのは入口上に女性の居場所Jikkaと大きく表記され、誰にでも開放されていること。道路に面した場所に在り、ガラス張りで見えるようになっているため、初めて利用する人にとっては安心だと思いました。会議の翌日は遠藤氏やJikkaスタッフの方と昼食を共にし色々なお話を聞かせていただきました。離婚は物理的・精神的・性的離婚をしてから最後に法律的離婚をした方が良いとか、オープンスペースについてなど。お帰りの時に「いつか是非Jikkaを見学させていただきたい」とお伝えしました。(I・S)



2025年度 DV 予防教育指導者スキルアップ講座を開催しました!

長崎県の委託事業の一環として毎年開催しているDV予防教育の指導者養成講座は、今年度もオンライン形式で8月23日・24日の2日間に分け基礎講習とグループワークを実施しました。参加者は県内の教員、行政、相談員、支援団体、これから予防教育をやりたい方など33名。



1日目は、「DVとは? DV/デートDVの基礎知識」、「今年度更新した教材の紹介(境界線と)と(同意)について伝える工夫」と「模擬授業」、「DVの子どもへの影響、影響を軽減するために必要なこと」、「予防教育実施の留意点、生徒への相談対応、事例で考えるデートDV」と、盛りだくさんの内容でした。

2日目のグループワークでは、小グループに分かれて模擬授業を実施。ファシリからの助言や参加者同士の意見交換も行われました。「境界線と同意」についても参加者から質問が出ていました。

参加された皆さま、本当にお疲れさまでした!

今年も講座内容をさらにアップデートし、より深い学びの場となるように準備していきます。

初めての方も、これまで参加されたことのある方も、ぜひご参加ください😊

感想(一部)

- ・とても勉強になりました。来月デートDV防止講座を実施していただきますが、その後の個別への対応、事後指導がやりやすくなったと感じています。学校ではデートDVに関する相談は多い印象です。そしてそれがDVだと理解していない生徒もいます。今後も集団への継続した教育、自分自身の知識のアップデートをしっかりと行いたいと思います。ありがとうございました。
- ・初めて参加し、基礎知識から「境界線」や「同意」についての伝え方の工夫において、視覚的に絵を用いた導入は学生にとって非常にわかりやすいと感じました。DV(ドメスティック・バイオレンス)の影響については、法律や統計データを通して現状を学ぶことができ、特にDV環境が心身に及ぼす深刻な影響について強く実感しました。コミュニティPCEの取り組みによって、少しでも被害者を救い、心のケアが行き届くようになればと願っています。こうした活動が社会に広く浸透すればいいと思います。DVを減らしていくためには、予防教育の実施が根本的なアプローチであると考えており、学生時代にこうした内容を学ぶことの重要性を改めて認識しました。ワークでは、さまざまなケースが提示され、問題解決が容易ではないことを実感しましたが、対応する際にはできるだけ多くの「解決策のカード」を持っておくことが必要だと感じました。

長崎市アマランスフェスタに参加 10月5日(土) 10時~16時



今年度も、暴力被害を受けた「私の気持ちをTシャツに!」を、テーマに被害者の声を書いたTシャツ「私は一人じゃない」「元気に今も生きてます」「みんなにも知ってほしい」「暴力が二度と無いように」などの展示と、立ち寄った方々にメッセージを書いていただく企画を実施。多くの方が展示に目を止め、用意した紙に思いを書いてくださいました。立ち寄り人数は100人。昨年より熱心に展示を見たり話を聴いてくださる方が多く嬉しく思いました。

また今年度は午後から「ヘルシーリレーションシップでいこう」という講座を実施しました。

ヘルシーリレーションシップは健康的な関係という考え方、それはみんなが安心して生活できることであること。そのためには「境界線と同意」がとても大切です。グループでいろいろ話しそれぞれの境界線や今までの体験などから考えていきました。また、距離の境界線では、ひもを使い、いろんな場面や相手によっても境界線が違うことなどを体験してもらい、おおいに盛り上がりました。

☆令和7年度 ララ元気ねっと特別支援事業☆

何ができるかな？ クリスマス会 2025.11.30



毎年皆が楽しみにしている「クリスマス会」。スタッフを入れて34名が参加。冒頭、保育士を目指している短大生がエプロンシアターなどの出し物を披露し、その楽しい「しかけ」や語り口から、あっという間に子どもたちが物語の世界に引き込まれていました。その後、みんなでクリスマスの歌などを歌い、いよいよ「ベリー

ダンス」の時間。暗くなった会場に「べらぼう」の壮大なテーマ曲が流れダンスが始まると、参加者一同その躍動感溢れる異国風の踊りに一瞬にして目を奪われていました。素敵な衣装やファンベール(扇子にベールが付いたもの)の優雅さは、まさに天女や羽衣を想像させるものでファンタジーの世界へといざなってくれました。次はビンゴゲーム。小学生の子ども2人がルーレットを回しながら数字を読み上げるのですが、なかなかビンゴが出ません。でも、一度出始めると次々に当たりだし当たった子どもたちは、ツリーに飾られていたプレゼントを走って取りに行き、好きなものを手にして喜んでいました(勿論大人にもプレゼントあり)そして賑やかなゲームから一転して「絵本の読み聞かせ」が始まると、会場がうそのように静まりかえり、皆さん耳を傾けていました。スタッフのEさんのソフトで優しい語りかけに子守唄を聴いているようでした。最後は全員が輪になって座り一言ずつ感想を述べあいでしたが、発言者が次の人に毛糸玉を投げて指名するというやり方で、参加者全員が毛糸を手にして繋がりました。一人ではないという感覚を皆さんが感じてくれたのではないかと思います。昨年に続き今年も、ブックサンタさんからの「絵本のプレゼント」もあり、子どもたちは思い思いの絵本を手にしていました。これは会の楽しみの一つになっています。また、この会が毎年実施できるのもララ元気ネットの助成があるからです。心から感謝しています。皆さん、「楽しかった。また、来年も参加したいです」と言って帰って行かれました。10年ぶりの方、初参加の方が久しぶりの再会を喜びあって「また、お会いしましょう」と声をかけあう方も沢山いました。その「笑顔」や「声かけ」がまた今年のクリスマス会企画の励みになりそうです。沢山の参加をお待ちしています!! (Y・H)

B	I	N	G	O
14	18	45	49	65
5	25	40	50	73
4	28	★	57	62
7	27	44	56	74
9	19	38	54	63



ララ元気ねっと・ララ元気ねっと特別企画

ララちびっこひろば 交流会に参加してきました! 2025.12.3

県立総合体育館で行われた交流会にEさんと2人で参加してきました。1グループ7～8人でそれぞれ指定されたグループに着席。100人以上の参加者でした。

オープニングアクトのにぎやかな歌から始まり、チーム対抗クイズ大会では初対面のグループの方々と答えを考え緊張が解けたところでグループ交流会が始まりました。皆さんそれぞれ活動している状況をとても元気に話され私も会の活動を少しでも皆さんに伝えたいと持参した広報誌やヘルシーレシヨンシップの冊子を配り、「同意」と「境界線」の話聞いてもらいました。同じグループに月1回お米や野菜などの食材を宅配するという子ども宅食という活動をされている方がいて、思わず「詳しい話を聞かせてください」とフリータイムの時間はその方と話し込んでしまいました。

個人的には「高齢になってもできる運動で、死ぬまで自分の足で歩けるからだ作り」を目指した三島体操に興味深々で、見学にどうぞとお誘いを受けました。

皆さんそれぞれご自分がされている活動をもっと伝えたい。という思いにあふれていて熱気あふれる交流会で私は皆さんからパワーをいただきました。ありがとうございました。(Y・S)



“シエルターネット全国加盟団体会議2025” in 久留米

今年はシンポジウムではなく加盟団体会議として、12月8日、9日、久留米市男女平等推進センター（えーるぴあ久留米）に於いて開催され、当会から5名が参加した。

1日目の全体企画は、第1部「共同親権でどうなる？」というテーマで、講師は、斎藤秀樹弁護士。民法の一部を改正する法律が、R8年4月1日から施行される。条文には抽象的な文言が多いため、混乱が生じやすいとのことから、条文の中で注意すべき点の説明がなされた。

共同親権と言っても、DVや子への虐待が認められる場合は、子の利益を優先して親権者が決定されると記されているが、裁判となった場合、裁判官や調査官の判断によるところが大きくなる。しかし、裁判官研修の中で、DVに関するものは一コマと極端に少ないのが実状であり、現状が正しく判断されるのか等懸念されていた。

第2部は“シエルターやステップハウスを運営し、直接被害者支援をしている38団体”に対し実施されたアンケート調査の結果報告があった。

また3年後のDV法の見直しに向けては、緊急保護命令の導入や同居していないデートDVカップルへの保護命令の実現に向けて、まだまだ準備が必要ということであった。

1日目最後の時間では、参加者からの現状報告がなされたが、DVや困難女性等支援への理解が各場面で十分になされず苦慮されている内容が多かった。

2日目は、3つの分科会が準備されていて、各々分かれて参加した。

①は「ハーグ条約や国際結婚とDV」について。②は「支援措置、保険証、マイナンバーなど「通知」等を使いこなそう＆現場では何が起きている？」について。③は「スマホやインターネットなどテクノロジーとDV」（シドニー世界会議の報告を兼ねて）。

私が参加した③の分科会では、スマホやインターネット抜きでの生活や避難は無理なことを認識し、便利さと同時に加害者からの追跡が容易になっているという危険も伴うことを念頭に置いて支援することが大切であること、かつその対策について報告された。また驚いたことはオーストラリアの電話会社が、新しい携帯をDVシエルターに毎年1万5千個寄付しているという事実。シエルターネットも我が国の某大手電話会社に電話の寄付のお願いに行かれたそうだが、全く相手にもされなかったそうで、次は上層部に懇願に出向くべきかと、悩まれていた。最後の全大会では、各分科会の報告がなされ、無事に閉会となった。

今回のシンポジウムは、例年よりはやや小規模ではあったが、その分各団体の実状や時代の流れによって変化していること等、貴重な発表を身近で聞いたことは良かったと思う。(N・I)

～赤い羽根募金「使い道を選べる募金」ご協力のお願い～



今年のテーマは「DV被害者の再スタート支援のための家具家電製品等の購入、
転居にかかわる費用の確保」です。



募金目標額は**88万円**。2026年1月1日～3月31日の **期間限定寄付**です。
ニュースレターに振込用紙つきのチラシを同封していますのでご利用ください。



*振り込み用紙はATMではできないため、お手数ですが郵便局窓口で振り込みをお願いします。*窓口での手数料は無料です。



*来年（2027年）2月の確定申告手続きで所得税の控除ができます。

郵便振替口座 01870-8-22522 社会福祉法人長崎県共同募金会
通信欄に「住所、氏名、連絡先」を必ずご記入ください。

※昨年の赤い羽根特別募金では目標額88万円に対し469,000円の寄付があり、手数料を除いた446,000円をいただきました。おかげさまで、「新生活に必要な家具家電品」を支援が必要なご家族に届けることが出来ました。多くの方にご支援いただき、本当にありがとうございます。

ネット・QRコードからも募金いただけます！
(ネットは2月末締切)

URL ⇒ https://www.akaihane.or.jp/themebokin/furusapo_2026_138/

QRコード⇒



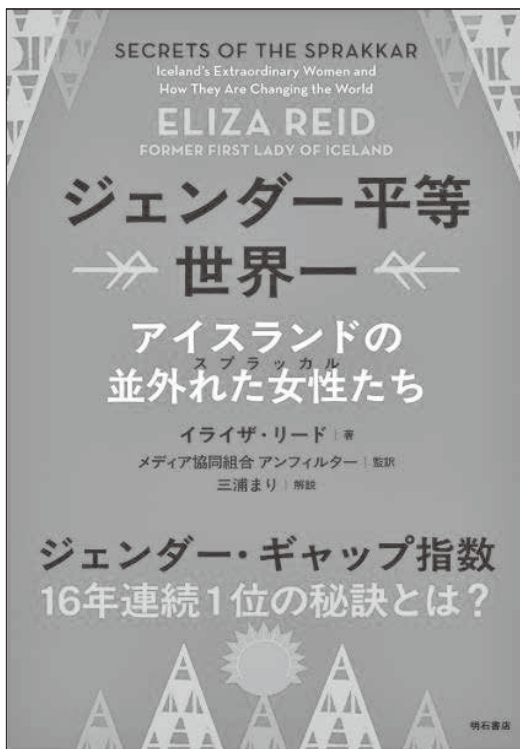


お勧めの本たち

「わたくし96歳 #戦争反対」

2025 講談社 刊
森田富美子 森田京子 著

X (旧ツイッター) で戦争体験や今の世界の状況への思いなどを発信している96才。ご存じの方も多いのでは。フォロワーはすでに9万人近い。長崎で原爆を経験し両親と3人の弟を火葬した記憶。忘れてはいけない、繰り返してはいけないとXに日々欠かさず投稿を続けている。昨年は戦後80年の節目だったが、世界中で戦火が絶えない。最近、年取ったなあなどとすぐに愚痴る自分を、思いっきり叱咤激励されている気がして背筋が伸びる。あきらめてはいけない、伝え続けることが大事。



「ジェンダー平等世界ー アイスランドの並外れた女性たち」

2025 明石書店 刊
イライザ・リード 著 三浦まり 監修
メディア協同組合アンフィルター 翻訳

ジェンダーギャップ指数トップを16年続けているアイスランド、人口は38万人（長崎市より少ない）、広さは北海道と四国を合わせたくらい。常に火山の爆発と厳寒と嵐に見舞われる厳しい自然の中で、性別にかかわらず誰もが住みやすい国を作ってきている。アイスランドのさまざまなスプラッカルな（並外れた）女性たちを紹介しているが、私たちの周りにも、実は昔からたくさんスプラッカルな女性たちがいたことに気づかされる。著者はカナダ人で、外国人の目から見たアイスランドを新鮮に描いており、その視点も面白い。著者の夫はアイスランド大統領だった時期があり、その夫をはじめ、登場する男性たちの考え方の柔らかさがステキだ。

ちなみに日本のジェンダーギャップ指数は2025年は118位だった（涙）今年の指数順位は、女性が首相になったことで何ポイントあがるだろうか。



いつもあたたかいご支援をありがとうございます！

国際ソロプチミスト（SI）長崎さま、SI佐世保さま、SI佐世保パールさまから今年もデートDV予防授業への助成金をいただきました。助成金授与式では、各地域で実施した予防教育の状況についてご報告しました。授業の時にも見学いただき、生徒の様子を優しく見守ってくださり本当に感謝申し上げます。



SI 佐世保の贈呈式にて

デートDV防止全国ネットワークスプリングフォーラム 2026

2026年3月8日（日）10時から17時 オンラインにて

『子どもへの性暴力とデートDV予防教育』（仮）

<内容>

「性暴力は人権侵害」（仮） 中村一也さん 社会活動家 元ジャニーズJr.

「被害を受けた子どもへの支援」（仮）山田不二子さん（認定NPO法人 チャイルドファーストジャパン代表）

「『デートDV予防教育 効果測定2025』報告」などなど

2026年1月15日（木）申込開始！ <https://ddvspringforum2026.peatix.com>



これからのイベント

☆アマランスミモザデー

日時：2026年3月7日（土）10時～16時

会場：長崎市男女共同参画推進センター「アマランス」

申込締切：2026年3月6日（金）

* 記念講演会や親子向け性教育、ラウンジコンサートやマルシェなどもりだくさん！
詳細はアマランスのHPやチラシで確認してください。



☆第32回性教育長崎セミナー

「生涯の生と性」～より幸せな関係作りをめざして 講師：村瀬幸浩さん

日時：2026年3月8日（日）9：20～11：35

会場：諫早市社会福祉会館

参加費：一般1,000円、長崎会員800円、学生無料

※会場参加、会場からの配信視聴、録画のみ（後日配信）～すべて同額。

申込はこちらから <https://peatix.com/event/4620047> 早めの申込を！

主催：長崎県“人間と性”教育研究協議会（代表：中村まり子開業助産師）

<https://na-seikyokyo.jimdofree.com/>



DV防止ながさきの電話相談

暴力を我慢する必要はありません。週4日、夜も電話を受け付けています。何度かけても構いません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心に引っ掛かっていることをとにかく話してみませんか？ 必要があれば専門機関へつなぐこともできます。

※ 面接は要予約です。安全な場所でお話を伺います。

月・水・土 13：00～17：00 ☎ 095-832-8484

月・水 19：00～21：00 ☎ 095-832-8484

火 17：00～20：00 ☎ 080-2794-8022

HP⇒

